

記者発表資料

2008年9月30日

建築学会埼玉支所

担当 高木、三條

電話 048-866-8257

電子メール s_gakkai@zpost.plala.or.jp

ホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kcaij/s12/index.html>

「埼玉住まい・まちづくり交流展2008」を開催します
子ども達のワークショップ「災害が起きたら、避難生活をしなければならないとしたら」などを企画

(社)日本建築学会埼玉支所は、住まい、まちづくりに貢献したいと願って埼玉県内各地で活動する NPO、専門家団体、大学、行政などの交流を支援し、その取組を県民の皆様へ情報発信します。今年で9回目の開催となり、子ども参加イベント、講演会、活動展示などを行います。

1 日時 2008年10月11(土)～12(日) 10時から16時半まで。

2 場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館
(東武野田線大宮公園駅下車 徒歩5分)

3 企画内容

(1) 10月11日(土)

①子ども達のワークショップ

●テーマ：「災害が起きたら、避難生活をしなければならないとしたら」

ビニール袋や竹などの身近な材料を用い、身体と頭を使って緊急避難用のシェルターを作成します。

被災地で実際に使われているバルーンシェルターを設置、体験できます。

●指導：今井 弘さん(独立行政法人建築研究所)

：八代克彦ものづくり大学教授と学生有志

●協力：NPO法人ピースウィンズ・ジャパン

●プログラム

10:30～11:30 「わたしたちにできること(世界の紛争、自然災害に対して)」

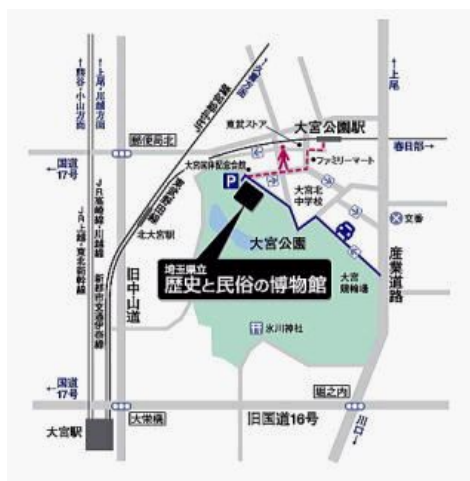
11:30～12:00 バルーンシェルターの設営

13:00～15:30 子ども達のためのワークショップ

●場所・講演：博物館地階講堂

・制作：博物館敷地内ほか

●事前申し込みが必要



②身近な歴史的資産保全利用を語る集まり（予約要）

15:00～17:00

（2）10月12日（日）の企画：二つの講演会

①「山からの水一滴も活かしきる先人の知恵」－埼玉の水物語－

- 講師：藤原悌子さん（NPO法人水のフォルム）
- 時間：10:00～11:30
- 場所：博物館地階講堂
- 定員：100名（申込み順・先着順）、資料代有り
- 共催：歴史と民俗の博物館友の会

②「岩槻の歴史を活かすまちづくり活動提案」

－城下町岩槻の隠れた歴史の息吹に触れる試み－

- 講師：伊藤洋子芝浦工業大学教授（県文化財審議委員）
- 時間：12:30～14:30
- 場所：博物館地階講堂
- 定員：100名（先着順）、参加費無料

（3）展示

県内大学、NPO、専門家集団等の活動成果を会期中、展示します。参加団体等による解説も予定しています。

- 会場：博物館1階ロビー
- 展示参加団体（内容）
 - ・大学：日本工業大学、ものづくり大学、埼玉大学、聖学院大学、芝浦工業大学、等
 - ・専門家団体：埼玉建築設計監理協会（よみがえりの建築）、日本建築家協会 JIA
 - ・NPO：NPO埼玉すまいの会、高住ネット、本庄まちネット、木の家づくり座談会、木犀、NPO秩父のまちづくり工房、NPO深谷にぎわい工房、NPOぎょうだ足袋蔵ネットワーク、都市づくりNPOさいたま、等
 - ・埼玉県庁：県土づくり企画室、木材利用推進室
 - ・大学卒業設計優秀作品（図面・模型）

4 主催 日本建築学会関東支部埼玉支所

5 後援 埼玉県、埼玉県立歴史と民俗の博物館

6 問い合わせ先 （社）日本建築学会埼玉支所：電話 048-866-8257
FAX 048-861-2384